PCI Express ×1

Component HD and DVI Capture Board

SC-500N1/DVI

コンポーネント HD&DVI キャプチャー・ボード

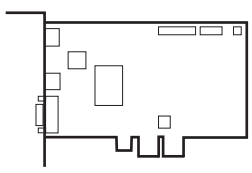
取扱説明書

Rev. D

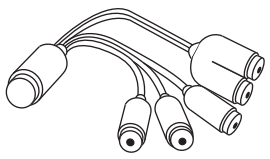
この度は SC-500N1/DVI をお買い上げいただき誠に有難うございます。

■同梱品一覧

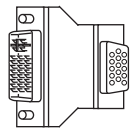
製品は万全を期しておりますが、欠品などございましたら、ご使用前に弊社へご連絡ください。



●SC-500N1/DVI 本体



●コンポーネント・ビデオ＋アナログ音声
複合ケーブル



●D-SUB 変換アダプター

●取扱説明書
●保証書
●CD-ROM

■SC-500N1/DVI とは

SC-500N1/DVI は、コンポーネント・ビデオ信号 (Y,Pb,Pr) や DVI-D 映像信号、HDMI 信号、アナログ RGB 信号、及び音声をパソコンに取り込むためのキャプチャー・ボードです。
SD 解像度から HD 解像度までの映像をパソコンに取り込んで録画することができます。
本製品はパソコン内部の PCI Express x1 スロットに接続してご利用いただけます。

ご注意

●本製品はパソコンに内蔵するキャプチャーカードです。このためパソコンのケースを開けてお客様が取り付ける必要があります。メーカー製パソコンの場合は、パソコン本体のケースを開けたり分解すると、パソコンの保証がなくなる場合がございますのでご了解の上、取り付け作業を行ってください。
●本製品の取り付けや取り外しは、お客様の責任で行ってください。お客様の取り付け方法に問題があった場合のパソコンの故障や破損に関しては責任を負いかねます。
●パソコンや機器との相性による不具合は動作保証をいたしかねます。
●本製品の取り付けや取り外し時は、パソコンの電源ケーブルを必ず AC コンセントから取り外してください。
●本製品の取り付けや取り外し時は、静電気にご注意ください。
●本製品にはハードウェアによる圧縮機能はありません。
●本製品では、添付のキャプチャー・アプリケーション「Video Keeper（ビデオ・キーパー）」での動作を保証しております。本製品は他社 DirectShow 対応アプリケーションでもご利用いただけますが、必ずしもすべての DirectShow 対応アプリケーションで正常な動作をするとは限りません。他社アプリケーションとの相性によって発生する不具合・相性に関しては改善できない場合もありますので何卒ご容赦ください。

■仕様

対応スロット	PCI Express x1(1.1)
対応機種	PCI Express スロット (x1) を持つ PC/AT 互換機 （動作環境と対応 OS は必須環境を参照のこと） ※ロープロファイルのパソコンには接続できません。
映像入力	コンポーネント・ビデオ（色差信号） Y:1Vp-p(75Ω) Pb:0.7Vp-p(±350mVp-p)(75Ω) Pr:0.7Vp-p(±350mVp-p)(75Ω) 帯域幅：12MHz ～ 110MHz
	HDMI(19 ピン) デジタル映像：HDMI(HDCP 未対応） 帯域幅：25MHz ～ 110MHz
	DVI-I（デジタル / アナログ RGB 共通）29 ピン デジタル映像：DVI-D(TMDS 方式シングルリンク） HDCP 未対応 0.5Vp-p(50Ω) 帯域幅：25MHz ～ 110MHz アナログ映像：R・G・B 信号 75Ω(0.7Vp-p) 同期信号 TTL レベル（セパレート同期） 帯域幅：12MHz ～ 110MHz
音声入力	デジタル音声：LinearPCM 48kHz 2ch(STEREO) ※DVI-D、HDMI 信号に音声を含む場合 アナログ音声：ステレオ 2ch アナログ RGB/ コンポーネント・ビデオ /DVI-D 音声共用
フォーマット	YUY2
入力解像度	裏面の「SC-500N1/DVI の入力対応解像度」参照
付属ソフト	VideoKeeper（ビデオキーパー）
圧縮方式	ソフトウェアによる圧縮
その他	DirectX 9.0c DirectShow 対応 動画コーデック (VideoKeeper 使用時）：XVID（拡張子は「.AVI」） 静止画 (VideoKeeper 使用時）：BMP/JPEG

製品のサポートに関して

＜保証期間内の故障時の対応＞
保証期間内(ご購入日から1年以内)の故障、または不良の場合は製品交換にて対応いたします。
交換時は、本書を含め付属品がすべて必要になりますので1年間は保管をお願いいたします。
保証規定に関しては保証書に記載しています。
＜保証期間外の故障時の対応＞
保証期間外(ご購入日から1年を越える場合)の故障の際は、製品の在庫が有る場合の有償交換にて対応いたします。
＜付属品紛失時の対応＞
付属品(ケーブルやアダプターなど)紛失の際は、保証期間に関係無く、在庫がある場合のみ、有償にて購入が可能です。

●「PLAYSTATION」および「PS3」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
●本機は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのライセンス商品ではありません。
●"Xbox360" は、Microsoft Corporation の米国及びその他の国おける商標または登録商標です。
●本機は Microsoft Corporation のライセンス商品ではありません。
●HDMI、HDMI ロゴ及び High Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing,LLC の商標または、登録商標です。
●その他、本書に記載された商品名及び会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
●本文中では、TM,(R) マークは基本的に明記していません。

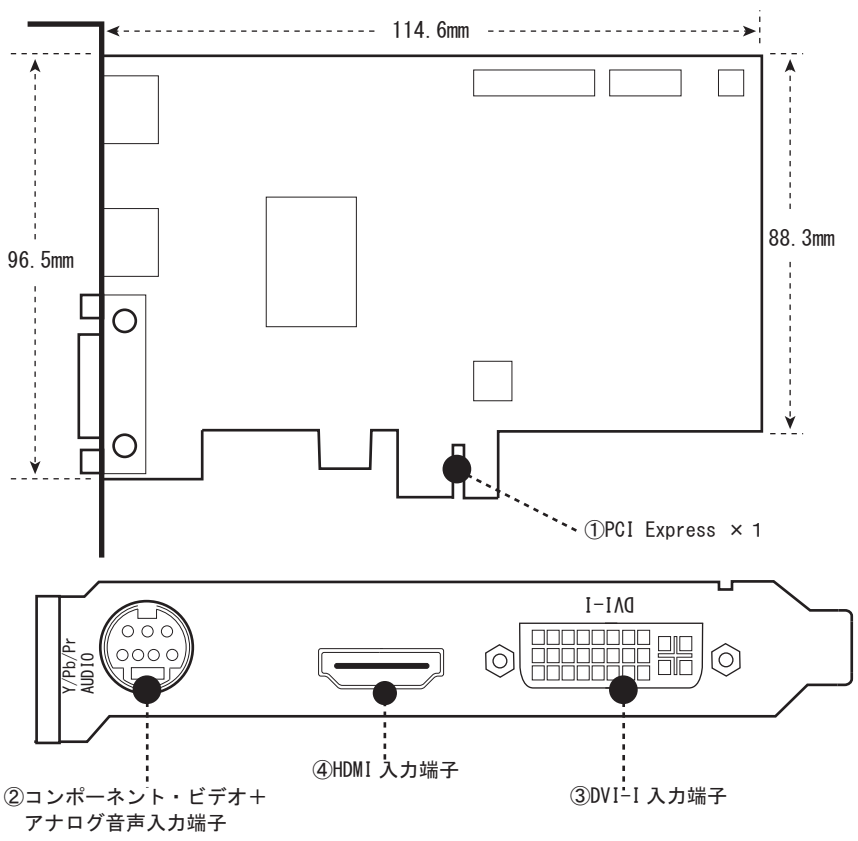
＜企画・開発・発売・ダイレクト販売＞
●製品内容・修理に関するお問い合わせ先
マイコンソフト株式会社
〒541-0041 大阪市中央区北浜 3 丁目 2 番 25 号
京阪淀屋橋ビル 6 階　電波新聞社・大阪本社内
TEL 06-6203-2827

＜販売・流通＞
●製品流通に関するお問い合わせ先
株式会社 電波新聞社
〒141-8715 東京都品川区東五反田 1-11-15
TEL 03-3445-8201（販売部・ダイヤルイン）

Web ページ URL http://www.micomsoft.co.jp/

※日本国内にてお買い上げ、ご利用のお客様にのみマイコンソフトにてサポートが可能です。日本国外への販売やサポート・保証は行っておりません。
※本製品の仕様は、改良のため予告無く変更することがあります。

■各部名称



①PCI Express ×1
パソコンの PCI Express ×1 スロットに接続する部分です。
この部分は非常に高速な信号が流れるため、取り扱いの際、直接手で触れたり傷を付けない様ご注意ください。

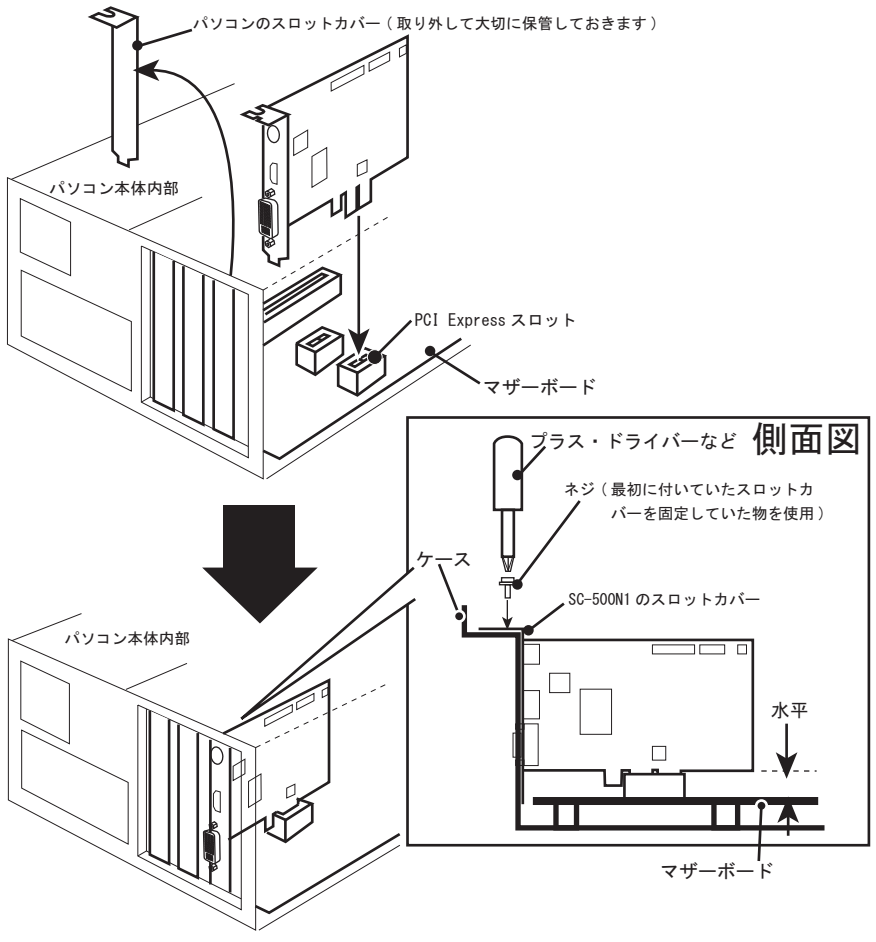
②コンポーネント・ビデオ＋アナログ音声入力端子
映像機器の Y,Pb,Pr 方式のコンポーネント・ビデオ信号と、アナログ音声 (L,R) を入力する端子です。映像信号や音声信号の入力には同梱の「コンポーネント・ビデオ＋アナログ音声複合ケーブル」を使用します。
アナログ音声入力は HDMI/DVI-A(RGB)/ コンポーネント・ビデオ /DVI-D 共用となっています。

③DVI-I 入力端子
映像機器やパソコンのアナログ RGB 信号 (D-SUB) やデジタル RGB 信号 (DVI-D) を入力する端子です。デジタル RGB 信号 (DVI-D) にデジタル音声が含まれる場合はデジタル音声も入力可能です。

④HDMI 入力端子
映像機器やパソコンのデジタル信号を入力する端子です。デジタル信号に音声が含まれる場合はデジタル音声も入力可能です。

■パソコンへの取り付け手順

1、パソコンの電源コードを AC コンセントから取り外してください。
2、金属などに手で触れて、体に帯電した静電気を取り除きます。
3、パソコンのケースを開け、ドライバーを使用して「パソコンのスロットカバー」を取り外します。
（取り付けたい任意の PCI Express のスロットカバーを取り外します。）
4、PCI Express のスロットに SC-500N1/DVI を、奥までしっかり差し込みます。
5、ドライバーを使用し SC-500N1/DVI の「スロットカバー」をネジでケースに固定します。
6、SC-500N1/DVI がマザーボードに対して水平であることを確認してください。
SC-500N1/DVI が斜めになっていると SC-500N1/DVI やパソコンの故障の原因になりますのでご注意ください (PCI Express の製品は特に斜めに挿さりやすいのでご注意下さい)。
7、取付が終わったら、パソコンのケースを閉じます。
8、パソコンのケーブル類の接続を元に戻し、電源コードを AC コンセントに取り付けてください。
9、パソコンを起動してください。
Windows が正しく起動した後、CD-ROM をパソコンの光学ドライブに挿入し、ドライバーとキャプチャー用アプリケーション (VideoKeeper) のインストールを行ってください。
（ドライバーとアプリケーションは同時にインストールされます）。
注：パソコンが起動しなかったり、エラー音が鳴る場合は、一旦パソコンの電源をオフにして、再度 SC-500N1/DVI の接続を確認してください。



■SC-500N1/DVI と VideoKeeper の動作環境

●必須環境（Driver とアプリケーションのインストールに必要な仕様）
デスクトップ型で下記の仕様を持つパソコン
CPU：Intel 社 Pentium Dual Core E2200(2.2GHz) 以上
PCI Express x1 の空きスロットが 1 つ有ること（ロープロファイルには対応いたしません）。
チップセット：Intel 社純正チップセット
ハードディスク：シリアル ATA 300Gbyte 以上（Driver とアプリケーションのインストールには 2Gbyte 程度の空き容量が必要。Windows が快適に動作する空き容量と、録画可能な空き容量があること）
光学ドライブ：CD-ROM や DVD-ROM など、CD-ROM を読み取り可能な光学ドライブが必要です。ドライバインストール用。
メインメモリー：DDR2 SDRAM、または DDR3 SDRAM 1Gbyte 以上
ビデオ性能：Direct X 9.0c 対応のハードウェアオーバーレイが可能なグラフィック機能
ディスプレイ：1024×768Pixel（ドット）以上の解像度
対応 OS：Windows XP SP3(32bit)、WindowsVista SP1(32bit/64bit)、Windows7 SP1(32bit/64bit)

※WindowsXP で VideoKeeper を使用し、SD 解像度のキャプチャーが行える環境です。
※比較的パフォーマンスの低いパソコンでご利用の場合は WindowsXP での使用をお勧めします。
※サーバーエディションでの動作は確認しておりません。

上記に加え、下記のスペックがあるとより快適に利用できます。
1080i などの高解像度で、より高いフレームレート（fps）を実現するためには、下記以上のスペックを持つ環境でご利用いただくことをお勧めします。

●推奨環境
CPU：Intel Core i5 3GHz 以上
メインメモリー：2Gbyte 以上
ハードディスク：500Gbyte 以上で十分な空き容量があること。回転速度 7,200rpm 以上を推奨。
その他：Windows 7 や Vista では、グラフィックボード（グラフィック・アクセラレターボード）のハードウェアオーバーレイが利用可能な状態で使用することをお勧めします（Aero[エアロ] 機能や半透明機能は「オフ」にしてください）。
特に 720p/1080i など HD 映像をキャプチャーする場合。

※Windows7 または Vista で VideoKeeper を使用し、1080i 解像度のキャプチャーが行える環境です。
※常駐アプリケーションや他のアプリケーションで CPU の使用率が高い場合は快適なキャプチャーを行うことができない場合があります。
※パソコンのハードウェア環境によっては快適なキャプチャーを行うことができない場合があります。
※推奨スペックであり、固定フレームレートでの動作を保証するものではありません。
※他社 DirectShow 対応アプリケーションなどを使用する際は、それらが必要とするパフォーマンスの環境をご用意ください。
※マザーボードの CPU 制御機能「C1E」は「Disable(オフ)」に設定することをお勧めします。「C1E」が「Enable(オン)」に設定されていると、CPU の処理がダイナミックに変化するため、キャプチャー時の映像がガタついたり、一瞬止まったりすることがあります。特にハードウェアによるオーバーレイを使用できないとき、この設定は重要です。なお、メーカー製パソコンではこれらの設定を変更できない場合があります。

■SC-500N1/DVI の入力対応解像度（VideoKeeper 使用時）

SC-500N1/DVI には下記の信号を入力してキャプチャーすることができます。

コンポーネント・ビデオ信号（Y,Pb,Pr）

ビデオ解像度：480i(60i)、480p(60p)、720p(60p)、1080i(60i)、240p(60p ノンインターレス［疑似インターレス］※PlayStation2/3)

HDMI/DVI-D（デジタル RGB＋デジタル音声）

ビデオ解像度　：480p(60p)※2、720p(60p)、1080i(60i)、1080p(24p)※1
パソコン解像度：640x480(60Hz)※2、800x600(60Hz)、1024x768(60Hz)、1280x1024(60Hz)、1440x900(60Hz)

※1：ビデオ解像度の 1080p でキャプチャー可能な解像度は 24p のみです。60p の解像度には対応いたしません。このため対応可能な機器は、ビデオカメラやデジタルカメラなどの 1080p(24p) 映像のみ対応となります。なお、パソコンの 24p(24Hz) 映像に関しては正しく表示できないことがあります。1080p(24p) 映像は他社 DirectShow 対応アプリケーションやアマレコ TV では正しくご利用いただけません。「VideoKeeper」のみ対応です。
※パソコンの映像をキャプチャーされる際は、パソコン解像度でのご利用をお勧めします。ビデオ解像度では正しく表示できないことがあります。
※パソコンのビデオカード（グラフィック・アクセラレーター）の中にはデジタル RGB で接続時に、最大解像度（1080p など）で表示し、ビデオチップのスケーリング機能によって各解像度を表示する物があります。そういった映像信号をキャプチャーした場合、映らなかったり、表示位置がズレる、画面の左右に黒い帯が表示され画面とウィンドウのアスペクト比率が合わなくなる、キャプチャ画面中央にパソコン画面が小さく表示される、などの症状が発生する事があります。

アナログ RGB（セパレート同期）

ビデオ解像度　：480p(60p)、720p(60p)、1080i(60i)、480i/240p(60p ノンインターレス［疑似インターレス］※別売の XSYNC-1 利用時）
パソコン解像度：640x400(56Hz)※2※3、640x480(60Hz)※2、800x600(60Hz)、1024x768(60Hz)、1280x1024(60Hz)、1440x900(60Hz)

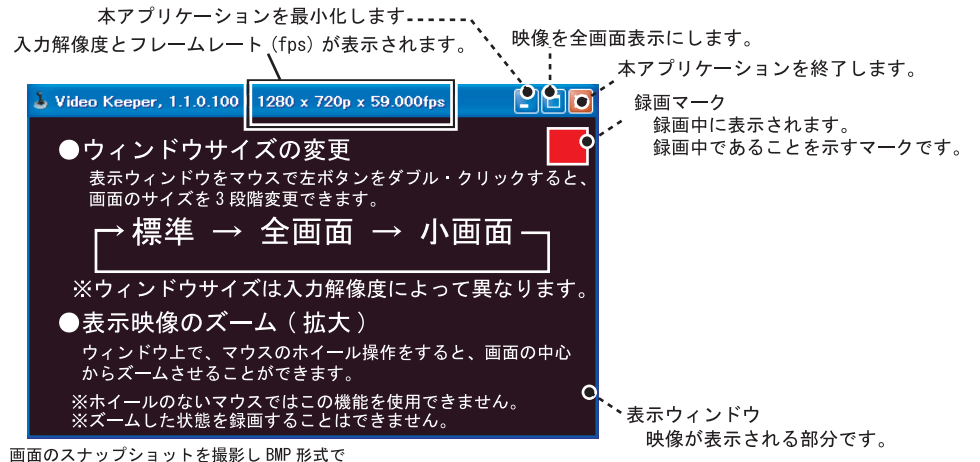
※パソコンの映像をキャプチャーされる際は、パソコン解像度でのご利用をお勧めします。ビデオ解像度では正しく表示できないことがあります。
※アナログ RGB ではキャプチャー時に表示位置が数ドット、ズレることがあります。
※640×480 ドット（60Hz）の解像度と、480p(720×480 ドット）の解像度は正しく識別できない場合があります。
※3：NEC 社 PC-9801UV/VM 以降の機種で、アナログ RGB 信号（D-SUB 15 ピン）に対応いたします。接続には端子の変換アダプターなどが必要です。

※2：パソコン側のハードウェア・オーバーレイが「オン」になっているとき、VideoKeeper で 480p 以下の解像度の映像や 640x480 ピクセル以下の解像度の映像を入力すると特定のビデオチップで映像を表示できません。また、表示できなくなった後、他の解像度に変更しても映像が表示されなくなります。この様な状態は VideoKeeper を再起動するまで改善されません。このため、これらの症状が発生するパソコンで使用される場合は、ハードウェア・オーバーレイをオフにするか、アマレコ TV の様にハードウェア・オーバーレイを使用しないアプリケーションをご利用ください。

■「SC-500N1/DVI」と「Video Keeper」の動作と録画に関する制限

●「Video Keeper」起動直後は十分なフレームレート（fps）が得られない場合があります。
●他のアプリケーションで CPU のパフォーマンスが低下すると、フレームレート（fps）が低下することがあります。また、映像の変化が激しい場合は、フレームレートの低下が発生することがあります。フレームレートが低下すると、フレーム飛びが発生したり、音声が途切れる場合があります。
●著作権保護の含まれる信号は表示と録画（キャプチャー）ができません。
●入力信号の解像度が変更されたり、入力信号が物理的に途切れると録画は自動的に終了します。
●VideoKeeper で録画しているとき、インターレス映像とノンインターレス映像が交互に変化する映像では、解像度が変更されたと判断し、録画が自動的に終了し、再度別のファイル名で録画を継続します。
インターレス映像とノンインターレス映像が交互に切り替わるゲーム映像は本機での録画の際などはこの様な動作となります。
●ビデオテープの再生映像の様に乱れた映像信号の場合は、正しく表示・録画できなかったり、録画が自動的に終了することがあります。
●「Video Keeper」のスナップショットのアスペクト比は固定です。「既定」のアスペクトでスナップショットされます。
●パソコンの省電力設定などで、スタンバイやサスペンドをご利用の場合は、正しく動作しないことがありますので、スタンバイやサスペンドの使用はお勧めできません。
●本機の DVI-I 入力端子から入力可能な RGB 信号は、「アナログ RGB」です。「TTL デジタル RGB」の信号には対応しておりません。
●入力可能な周期信号は「セパレート同期（H-Sync と V-Sync）」となっており「複合同期（C-Sync）」には対応できません。
なお、水平同期周波数が 15kHz（SD 映像）のアナログ RGB 信号で「複合同期（C-Sync）」の信号に関しては「XSYNC-1」を利用することによって対応が可能です。（弊社で動作を確認した機器のみ）。
●アーケード・ゲーム機器の映像など特殊な映像はキャプチャーを保証できません。
●アプリケーションで表示される fps 数はフレーム換算で表示されるため、インターレス（480i/1080i）映像は最大 30fps と表示され、ノンインターレス（プログレッシブ 480p/720p）は最大 60fps と表示されます。なお、1080p の場合は 24fps までとなります。
●本製品の映像処理は YUY2 という方式を使用しています。このため、色の再現性は RGB 方式に比べると低くなります。YUY2 方式でカラー情報を扱う場合、水平方向に 2 ピクセルで 1 色程度の色再現性しかありません。こういった特性から主にパソコンなどで文字（白以外のテキスト文字）などを表示される場合、綺麗な文字表示ができない場合が有ります。
●Wii のプログレッシブ映像（480p）は、映像の特性により、画面が微妙に明るくなったり、暗くなったりを繰り返すことがあります。

■キャプチャー・アプリケーション「Video Keeper（ビデオ・キーパー）」機能解説



画面のスナップショットを撮影し BMP 形式で「My Snapshots」のフォルダへ保存します。

操作メニュー

「表示ウィンドウ」でマウスの右ボタンをクリックすると表示されます。

- インターレース解除 ▶
- ビデオ入力ソース ▶
- オーディオ入力ソース ▶
- アスペクト比 ▶
- 録画 ▶
- スナップショット（BMP）
- スナップショット（JPG）
- 常に手前に表示する
- 設定 ▶
- 終了

このアプリケーションを終了します。

表示ウィンドウを常に手前に表示します。

インターレース解除：ハイ／ミディアム／ロー
インターレス信号（480i/1080i）のときのみ表示される項目です。デ・インターレス処理（くし型表示の除去）の効果を選択できます。「ハイ」は効果が高いですが、画質が低くなります。「ロー」は効果が低いですが、画像は鮮明です。「ミディアム」はこれらの中間です。

ビデオ入力ソース：HDMI／DVI-D／COMPONENT／DVI-A(RGB)
入力のチャンネルを選択できます。
HDMI　：HDMI 端子から入力されるデジタル音声を選択します。
DVI-D　：DVI-I 端子から入力されるデジタル映像を選択します。
COMPONENT：コンポーネント（Y,Pb,Pr）を選択します。
DVI-A(RGB)：DVI-I 端子から入力されるアナログ映像を選択します。

オーディオ入力ソース：HDMI／RCA-IN
音声信号を選択できます。入力のチャンネルが HDMI または DVI-D のときのみ表示される項目です。
HDMI (DVI-D)　：デジタル信号に音声が含まれる場合にデジタルで音声を入力可能です。ビデオ入力ソースが「DVI-D」の時は「DVI-D」と表示されます。
RCA-IN：コンポーネント・ビデオ＋アナログ音声入力端子からのアナログ音声を入力可能です。

アスペクト比：既定／4:3／16:9
入力映像のアスペクト比率を変更できます。
既定　：標準のアスペクト比率で表示します。
4:3　：ノーマルのアスペクト比率で表示します（SD 映像時は画面比重視）。
16:9　：ワイドのアスペクト比率で表示します。
※ここで設定したアスペクト比は録画映像にも反映されます。ただし、入力される信号の種類や解像度によっては、アスペクト比が反映されず「既定」のアスペクト比になる場合があります。
※アスペクト比は、スナップショットには反映されません。スナップショットは常に「既定」のアスペクトです。

録画：オフ／オン（高画質）／オン（低画質）
入力映像や音声を録画するか、録画しないかを選択できます。
オフ：表示のみで録画はしません。または録画を終了します。
オン（高画質）：高画質で映像を録画します。録画されるデータ容量は大きくなります。
オン（低画質）：低画質で映像を録画します。録画されるデータ容量は小さくなります。
※各設定を変更すると録画が強制的に終了されます。また、ズーム状態を録画することはできません。
※録画中に入力映像の解像度が変更された場合は、一旦録画を終了し、別のファイル名で録画を再開します。

保存場所の指定
録画したデータのファイルや、スナップショットの画像の保存場所を指定することができます。
ハードディスク上の指定した場所に「My Records」「My Snapshots」というフォルダを自動的に作ります。
「My Records」には動画データを保存します。
「My Snapshots」にはスナップショットの静止画データを保存します。

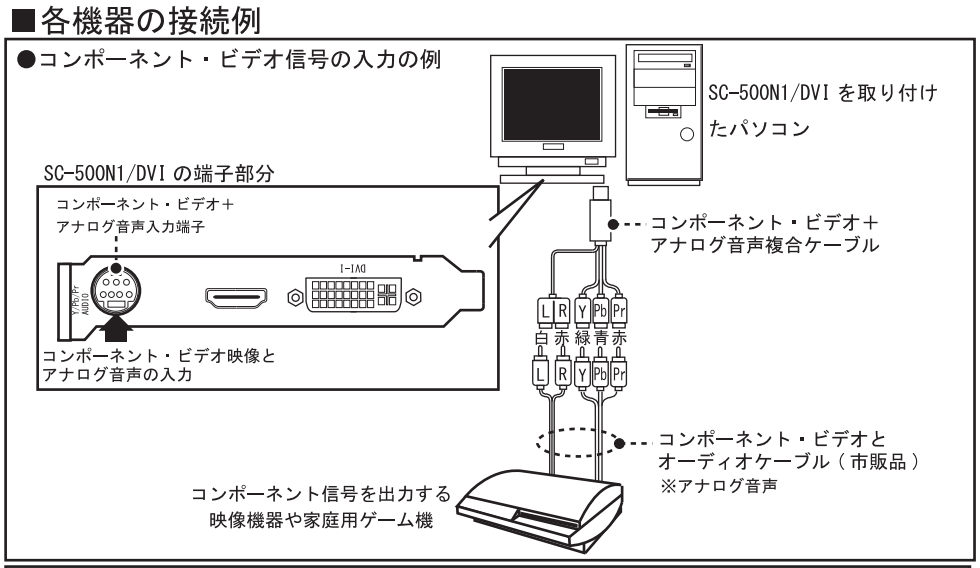
画面のスナップショットを撮影し JPEG 形式で「My Snapshots」のフォルダへ保存します。

※Windows XP の時、初期設定では、「マイドキュメント」内に「My Records」「My Snapshots」が自動作成されます。
※Windows Vista/7 の時、初期設定では、「ドキュメント」内に「My Records」「My Snapshots」が自動作成されます。
※スナップショット時のアスペクト比は、必ず「既定」になります。なお、「既定」のアスペクト比設定は、SD 映像時＝4:3、HD 映像時＝16:9 となります。また、パソコン解像度の場合は入力されたパソコン画面のアスペクト比が「既定」となります。

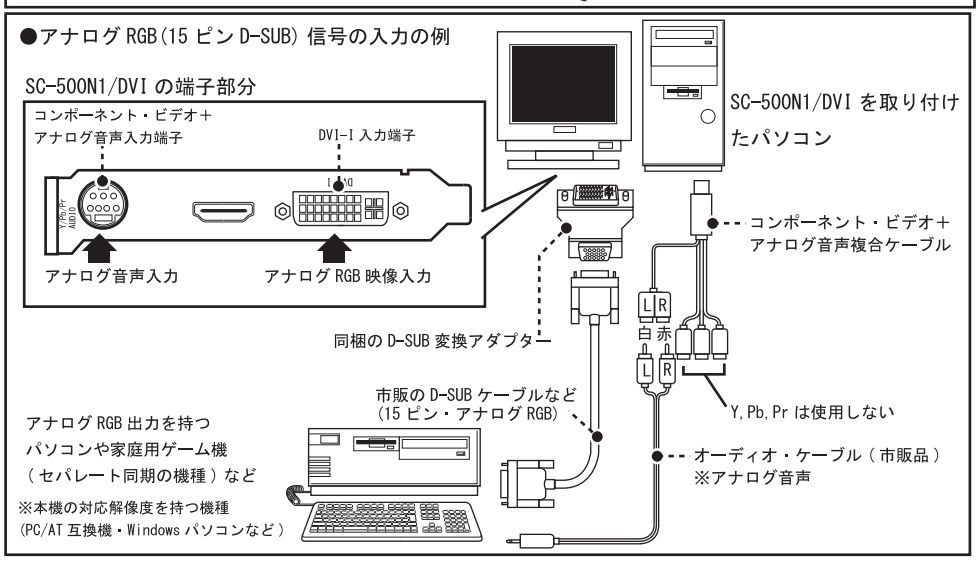
「Video Keeper」で使用しているコーデックは、低いビットレートで長時間録画に適した仕様となっております。またコーデックも XVID 固定となっております。高画質での録画を優先されるお客様や、より多機能なアプリケーション性能をご希望のお客様は、DirectShow 対応の市販（またはフリー）のアプリケーションと高画質なコーデックの利用をお勧めします。フリーウェアの「アマレコ TV」は弊社で動作を確認いたしました。「アマレコ TV」は映像やキャプチャーに詳しい方向けのアプリケーションです。詳しくはインターネットで「アマレコ」を検索！
「アマレコ TV」の対応 OS に関しては、事前にご確認ください。
なお、「VideoKeeper」と「アマレコ TV」では必ずしも表示・録画可能な映像や対応解像度が同じではありませんが、何卒ご容赦ください。

■各機器の接続例

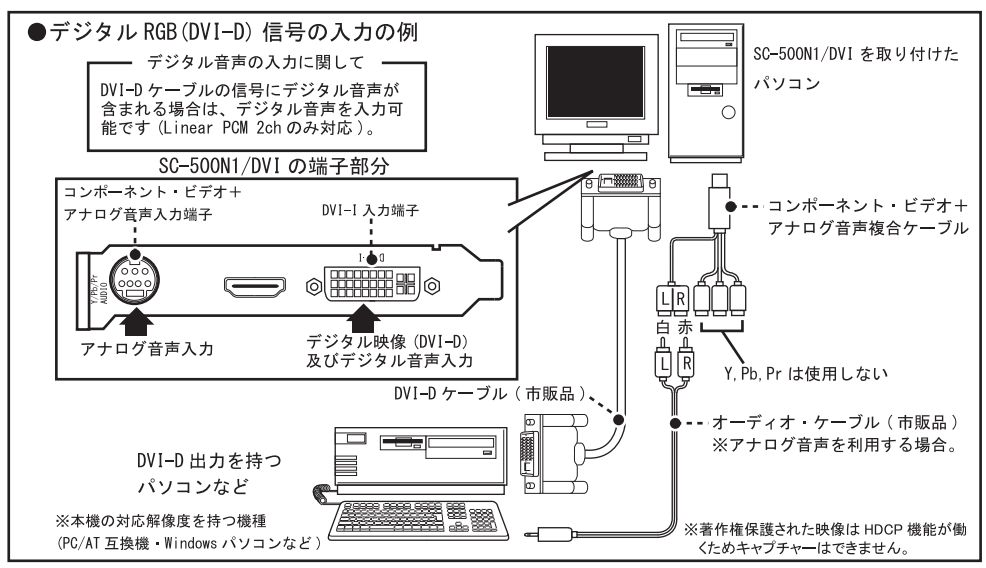
●コンポーネント・ビデオ信号の入力の例



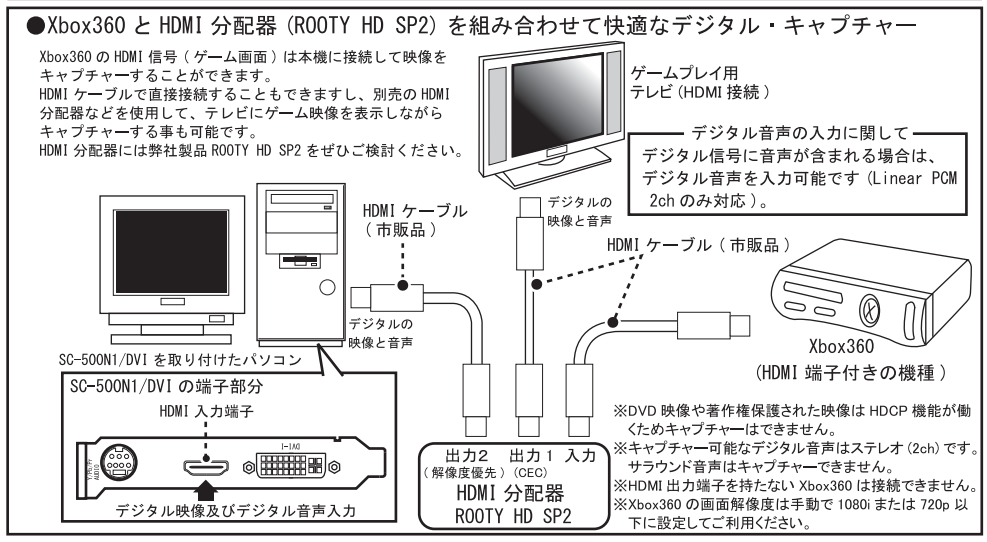
●アナログ RGB(15 ピン D-SUB) 信号の入力の例



●デジタル RGB(DVI-D) 信号の入力の例



●Xbox360 と HDMI 分配器（ROOTY HD SP2）を組み合わせて快適なデジタル・キャプチャー



映像信号の画面調整に関して

キャプチャーされた映像信号は、お客様側で表示位置や表示幅を調整することはできません。このため、入力信号の違いなどによって発生する画面の表示位置やズレや表示幅の違いを改善できない場合があります。

著作権保護機能に対応する機器を接続する際の注意事項

本機では下記の信号をキャプチャーできません。

PlayStation3 の HDMI 信号	HDCP が含まれるのでキャプチャーはできません。
Xbox360 の HDMI 信号	システム画面やゲーム画面はキャプチャー可能ですが、DVD 再生時や著作権保護された映像は HDCP が含まれるためキャプチャーできません。
Blu-ray/DVDﾚｺｰﾀﾞｰ/ﾌﾟﾚｲﾔｰの HDMI 信号	HDCP が含まれるのでキャプチャーはできません。
パソコンの DVI-D 信号や HDMI 信号	対応解像度のシステム画面やゲーム画面はキャプチャー可能ですが、DVD 映像や Blu-ray 映像、デジタル放送（地デジ、BS/CS）の映像が表示される場合は HDCP が動作するため、キャプチャーできません。
コンポーネント・ビデオでコピープロテクト信号が含まれるとき	コピープロテクトを自動検出しますのでキャプチャーはできません。

デジタル信号で 1080p に対応した機器を接続する際の注意事項

本製品の HDMI または DVI 端子から入力されるデジタル信号は最大解像度（ビデオ解像度）が最大 1080p です。しかし、フレームレートは 24p(24Hz) までとなっており、60p(60Hz) には対応できません。このため、1080p の 60p 映像は入力しても表示されません。デジタル信号を出力する機器の多くは、標準で 24p の映像を出力しない物が多く、解像度のみ認識して 1080p(60p) の解像度で自動的に映像を表示します。
この場合、解像度の違いにより、画面が映らない症状が発生します（1080p(24p) の対応機器は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで 24p 出力を持つ機器で HDCP を使用しない映像に限られます）。このため、DVI-I 端子からデジタル信号を入力して映像・音声が全くキャプチャーできない場合は、入力機器の画面解像度を手動で 1080i(60i) または 720p(60p) 以下に変更し、キャプチャー可能な解像度に設定してください。また、機器の画面解像度は自動認識しない設定（手動設定）でご利用ください。

映像や音声の遅延に関して

キャプチャーを行う際は映像や音声が遅延します。特に動きの激しいゲーム（シューティングゲームやスポーツゲーム、アクションゲーム）では、キャプチャー画面を見ながらのゲームプレイをお勧めできません。このため、ゲームなどのプレイ映像や音声を録画する様な利用方法では、本機に映像や音声を入力する前に、一旦信号を分配するなどし、遅延の少ないテレビなどでゲームをプレイしながらキャプチャーすることをお勧めします。なお、どうしてもキャプチャー画面を見ながらゲームをプレイしなければならない場合は、ゲーム機の画面解像度を、720p や 480p などプログレッシブに設定すると遅延を感じにくくなります。